



1958年12月1日創立 国際ロータリー 第2730地区

鹿児島南ロータリークラブ

2020-2021年度 国際ロータリーテーマ 2020-2021年度 RI第2730地区スローガン

「ロータリーは機会の扉を開く」 「不易流行・ロータリーの基本を堅持し変化に適応するクラブを」

ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021年度 クラブのスローガン 「ロータリアンなんで!」

姉妹クラブ: 台湾 高雄東 RC 友好クラブ: フィンランド ロヴァニエミ・サンタクロース RC ドイツ カールシュタット・アルンシュタイン RC 宮城県多賀市 多賀城 RC

会長: 田中 紀春 会長代行: 荻原 隆志 会長ノミネート:

幹事: 吉井 圭介

2020-2021年度 RI会長 ホルガー・クナーク

2020-2021年度 RI第2730地区ガバナー 風呂井 敬(鹿屋西RC)

市内グループガバナー補佐 A: 上川 咲男(鹿児島南RC) B: 野井倉 洋豪(鹿児島東南RC)

水 と 衛 生 月 間

週報

Vol.63 No.24

令和3年(2021年)

3月24日

【事務所】

〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目8-10

TEL:099(254)1117 FAX:099(254)1119

E-mail:south-rc@po.minc.ne.jp

【例会日】毎週水曜日 12:30~13:30

【例会場】サンロイヤルホテル



【第2988回例会】会員卓話「With/after コロナ時代の観光の変化について」大八木昌宏会員

令和3年3月10日 第2987回例会

[点鐘] [ロータリーソング] それでこそロータリー

[四つのテスト唱和] 鈴木会員

[ゲストビジター紹介]

鹿児島東 RC 岩重礼会員 谷口育代会員

幹事ゲスト 柗元修一様 川越龍太郎様

東條弘暉様

会長の時間

今日は3月10日。10年前の今日まではいつもの日常が東北地方でも営まれ、誰もが明日起こることを知るすべはなかったことに不条理を感じます。平成23年3月11日、東日本大震災、大津波、原発事故。次々に想定外の災難が起きました。お亡くなりになった多くの方々のご冥福をお祈りし、ご家族、ご友人、大切な方とお別れした方々、罹災され、今なお苦しんでいる方々に心からお見舞いを申し上げます。10年前の3月11日、いつも通りの診療に従事していましたが、夕刻、待合でテレビをみて東京にいる息子と連絡がとれないと戸惑うお母様の姿ははっきりと覚えています。10年経過して、様々な情報が整理され、映像が流され、どういうことが起こったのか分かるようになってきました。新たに建築された巨大な防潮堤に違和感を感じながらも、そこで生活する人々の安心感を考えると理解はできます。しかし、原発から毎日出る処理済みの汚染水をためるタンク群がどんどん増えている光景からは、安倍前首相が発した「コントロール下にある」という言葉には同意できません。震災後、4月に福島県飯館村から鹿児島島の娘さんを頼って避難してきた86歳のおばあちゃんがクリニックを受診されました。お話を聞きますと、飯館村は、「までい」の村として、住民がいろいろな村おこしに積極的に取り組み、美しい山村をつくりあげていました。「までい」とは、手間ひま惜まず、丁寧な心を込めて、つましく、という意味で東北地方の方言です。思いやりの心・人への優しさあふれる飯館流スローライフ、それを「までいライフ」と呼んでいるそうです。そして何よりもそこに生活する住民の皆さんが自分たちの村を愛し誇りにしていることがひしひしと伝わってきました。

“飯館村には忘れられた日本の美しい風景が残っている。何よりの美しさは、風景そのものではなくそこに住むひとりひとりの村民の心の中にある。” そのおばあちゃんが最後に「原発事故がすべてを壊してしまった」と。私事です、福島原発から北西に位置する飯館村と鹿児島島の川内原

発から同じ方位にある両親の住む長島町が重なります。川内原発に何かあれば同じことが起こります。居住困難になると豊かな水産資源も美しい夕陽に照らされる風景も失われてしまいます。この原発事故を経験し、更には使用済み核燃料の最終処理方法も決めずに原発の稼働を続けているのには、様々な理由は並べられますが、福島の10年たった今をみるにつけ理解に苦しむところです。その後、仙台に移動したそのおばあちゃんは昨年、誇りであった飯館村に戻ることなく亡くなりました。

多くの人命を奪い、多くの人の人生を狂わせ、そして10年経過しました。自然災害であるということに加えて、政治も含めた人災の側面もしっかりと検証されるべきと思います。そして、少なくとも人災の部分は繰り返されることがないようにしなければいけないと思います。地震、水害、火山、台風・・・日本のどこでもいろんな災害に見舞われる可能性はあります。圧倒的な自然の前での人間の無力さ。美しい豊かな自然に感謝するとともに、自然に抗することなく自然とともに生きていく姿勢が大切なのではないのかと考えさせられます。10年前に起こったこと、その後に積み上げられた時間に想いをいたしながら、日常を見直す契機となる日にしていきたいと思います。

会務報告

- ①先週の例会で「緑の募金」のご協力をいただきました。13,000円集まりましたので送金します。
- ②フィンランド友好クラブからサンタクロースカレンダーが送ってきました。
- ③鹿児島城西 RC より、三木靖先生令和2年度県民表彰・第71回南日本文化賞受賞記念講演会「鹿児島城の御楼門と大手門 鶴丸城を楽しもう!」と題した講演会の動画配信の案内がきています。ご希望の会員は事務局までお知らせください。
- ④賀寿の宴・観桜会、地区大会の出欠のお返事をよろしくお願いいたします。

田中年度寄付額

★ロータリー財団 田中会員、武井会員
累計 110,000円★米山記念奨学会 田中会員、武井会員
累計 120,000円

○100万ドルのお食事 3/10 現在寄付額 85,800円

○米山ランチ 3/10 現在寄付額 74,580円